

信州飯山市小菅 南竜池ボルダー

平成元年5月11日 RCT/K

かつて、戸隠、飯綱と並び北信濃三大修験場として隆盛を極めた小菅山は、当時の面影を残すものは奥社のみとなってしまったが、多くの歴史的文化財や伝統行事を受け継いで守ってきた小菅集落は、時代を越えて再び修験道の場として近年見直されつつある。

今年は4月に入り何回も降雪があり、山の雪解けは遅れてしまったが、唱歌「朧月夜」で知られた菜の花は、連休に合わせてるように満開となり多くの観光客を迎えていた。

4月下旬にちょっと時間があり何処かボルダーでもと思ったが、天気予報は芳しくなく、結局「菜の花公園」の見える「神戸の大イチョウ」から小菅集落まで、昔「小菅市」で利用した「風切峠」越えで往復するというコースで、半日ほどのハイキングに出かけた。

その昔、小菅山の南参道であったという山道を、江戸時代の修験者や参拝者が建てた石碑や石仏を見ながら風切峠を越え、小菅集落の入り口に当たる桂清水辺りまで歩いて行くと、左下の南竜池跡側にちょっとしたボルダーが見えたので確認しに行ってみる。

ボルダーは2m強程で、出だしが被っているが上は傾斜が落ちてしまい、さほど面白味は感じられなかった。しかし数時間あれば実家から行って十分に遊んで来れる場所で、自分としては貴重なボルダーなので、後日掃除とトライをしようと思いその日は時間もなく帰宅した。

後日時間をとって掃除とトライに出かけるが、周囲に多量のゴミが投棄してあり、トライに影響のない場所に移すために時間を食ってしまい、結局ゴミ片付けと掃除で終わって帰宅した。

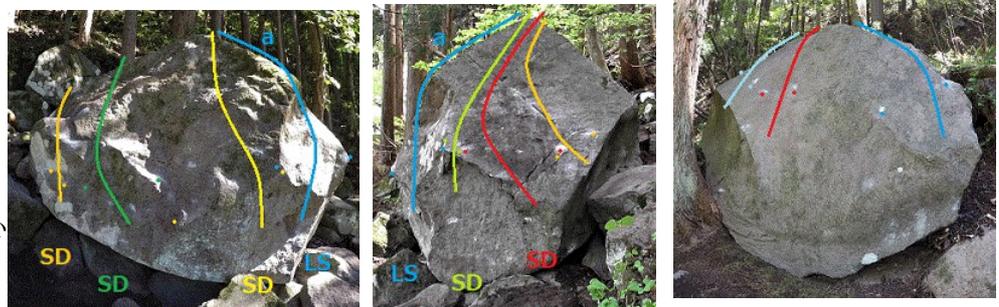
その後再度半日ほど時間をとってトライに出かけ、一通りの課題を登ったが、SDで限定すれば意外と面白く、十分に楽しむことができた。さらに南側40m程のところには2m弱のスラブボルダーがあり、課題を作ったので合わせて紹介したい。

アクセスは国道117号から大関橋を渡り小菅へ向かう。菩提院の下に無料駐車場がある。アプローチは民家の間の車道を桂清水方面に向かい、桂清水から山道を50m程行ったら右下に見えるA岩に向かって斜面を降りる。B岩は植林帯を南側に40m程行けばあるので、直ぐそれと分かる。



《課題紹介》

トポ左:A岩北面
トポ中央:A岩南東面
トポ右:B岩



A岩はSD課題中心で出だしが核心。下地が石が飛び出て良くないので、クラッシュパッドはあったほうが良い。緑ライン(右ヒールをかけておいてスタート)と赤ライン辺りが面白い。

B岩は赤ラインが面白いが、身長があると簡単になる。